

参加者が捕獲した「水田の生きもの」について
観察された生きもの（種類分けは肉眼観察により推定）

植物

稲、ウキクサのなかま、アミミドロのなかま、珪藻のなかま

節足動物

ミジンコのなかま、カブトエビ、カイエビ、ホウネンエビ、
アメリカザリガニ

巻貝

タニシのなかま、カワニナのなかま、モノアラガイのなかま

環形動物

ヒルのなかま

水生昆虫

コオイムシ、ガムシ（成虫・幼虫）、ゲンゴロウ（幼虫）、
トンボのなかま、アメンボのなかま

魚類

両生類

ニホンアマガエル、オタマジャクシ、ヌマガエル、ダルマガエル、
トノサマガエル

鳥類

キジ（声のみ）

* 今回の講座（水田の生きもの調べ）は二回目の試みで、室内での観察時間を少し長くしたが、まだまだ見落としている生きものがあると考えられる。しかし、「健全な水田」の指標である「ミジンコのなかま」や「カブトエビ、カイエビ、ホウネンエビ」などが多く生息していたので、観察させていただいた水田は「健全な水田」であることがわかった。

* 1枚の水田という小さな生態系の中で、植物（ミドロのなかま、ウキクサ、稲）⇒ ミジンコなどの動物プランクトン ⇒ ヤゴなどの水生昆虫 ⇒ カエルや鳥と食物のつながりが成立していることも気づいてもらった。

* 観察した生きものの写真

ミドロのなかま



水稻



ケイソウのなかま



ウキクサのなかま



ミジンコのなかま (横からみた)



ミジンコのなかま (背からみた)



ラップムシのなかま



ごみについているツリガネムシ



カブトエビ



カブトエビが脱皮したぬけ殻



ホウネンエビ



カイエビ



トンボのヤゴ



トンボのヤゴ



コオイムシ



コカゲロウのなかま



ガムシのなかま (成虫)



ガムシのなかま (幼虫)



ゲンゴロウのなかま (幼虫)



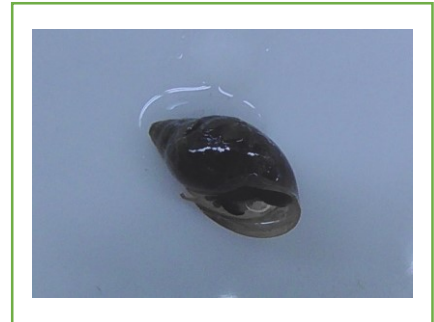
マツモムシのなかま



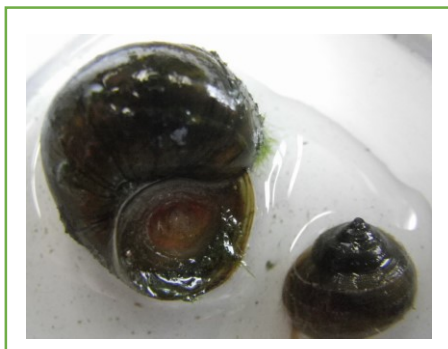
アメンボのなかま



サカマキガイのなかま



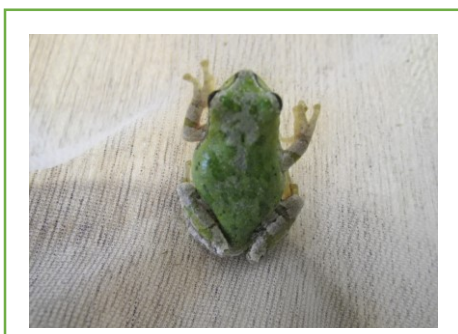
タニシのなかま



カワニナのなかま



ニホンアマガエル



ツチガエル



オタマジャクシ



ダルマガエルのなかま

